

## 柳大使のUNFPA主催プロジェクト開始式典への出席

4月14日、柳大使は、我が国の支援を受けて、UNFPAが国際NGOであるIRC (International Rescue Committee) との協力の下、アズラック難民キャンプ内クリニックで実施するプロジェクト「シリア難民女性、少女、少年及び男性に対するリプロダクティブ・ヘルス・サービスの提供 (Provision of Essential Sexual and Reproductive Health (SRH) Services for Syrian Refugee Women, Girls, Boys, and Men (WGBM) in Jordan)」プロジェクトの開始式典に出席し、スピーチを行いました。我が国は、平成30年度補正予算により、UNFPAヨルダン事務所に対し、205,357USDの支援を実施しています。

式典では、柳大使の他、ヨルダン政府シリア難民局代表、UNFPAヨルダン事務所代表、UNHCRキャンプマネージャーが挨拶を行いました。また、プロジェクト開始に際し、柳大使はリプロダクティブヘルスのクリニックでリボンカットを行いました。多くの出席者及びUNFPA関係者より、我が国の支援に対する謝意が繰り返し表明されました。

式典後、柳大使は、リプロダクティブヘルス・クリニック及び女性や少女のためのセーフスペースを視察しました。



大使によるスピーチ



関係者との記念撮影



本事業のバナー



クリニックの視察